

「ものづくりは人づくり」のキャリア教育

—地域との連携を主体として—

1. はじめに

本校はものづくりの町大阪市生野区にある工業高校である。昭和15年に創立され、来年創立75周年を迎える。機械科、電気科、電子機械科の3科からなり、1学年3学科6学級で構成されている。

校訓は「勤勉・創造・自治」であり、「ものづくりは人づくり」をモットーとしてものづくり教育に取り組んでいる。

2. 本校の取組

本校ではキャリア教育はもちろんのこと、小学生ものづくり教室や商店街プロジェクトなど地域と連携した取組を行っている。今回はこれらの取組について紹介する。

なお本校は、平成25年度にはキャリア教育優良教育委員会・学校及びPTA団体等に贈られる文部科学大臣賞を受賞した。

(1) キャリア教育

本校卒業生の進路は就職がおよそ8割、進学がおよそ2割である。本校では厚生労働省が2003年より提唱している次にあげる「キャリア

大阪市立生野工業高等学校 教諭 坂本 高英

形成の6ステップ」をベースにした「進路の6ステップ」として現在までキャリア教育を行っている。

① 自己理解

ワークシートや自己理解マップセミナー等で自分自身の経験や関わりを振り返る。

② 仕事理解

卒業生を囲む会や社会人セミナー、会社案内など仕事を知る。

③ 啓発的経験

インターンシップなどにより求人票や会社案内では分からない職業体験をする。

④ 進路選択の意志決定

自身の適性や体験などから進路先の決定をする。

⑤ 具体的方策

進路先の合格・内定を得るために、筆記試験や面接試験に向けての対策を行う。

⑥ 他職種への適応

入社後の環境変化等に備え、他職種に適応するよう、マナーや資格等を身につける。また入社後のために、労働法セミナーを行っている。

1年生の段階から計画的に進路指導に取り組む「進路指導3ヶ年計画」を平成16年度に策定し、3年間を見通した指導を行っている。

1年生では「自己理解」、2年生では「職業・

学校理解」, 3年生では「具体的方策」をテーマにしてキャリア教育に取り組んでいる。

具体的な取組を次にあげる。

1年生

適職・適学ナビ（進路適性検査）

第1回進路説明会：自己理解セミナー

職業興味検査（Prep-Y）

第2回進路説明会「正社員とフリータ」

第3回進路説明会：職業別ガイダンス

2年生

適職・適学ナビ（進路適性検査）

第1回進路説明会：職業別ガイダンス

職業適性検査（GATB）

職業別ガイダンス

ジュニアインターンシップ

第2回進路説明会「今、準備しておくこと」

第3回進路説明会「これから取り組むこと」

進路ガイダンス（就職／進学）

3年生

第1回希望別進路説明会

保護者進路説明会

職業レディネステスト

面接練習

自己PR・進学分野別セミナー

第2回進路説明会

卒業生を囲む会

進路別セミナー

高校生就職ガイダンス

学校見学バスツアー

受験先決定者ガイダンス

労働法セミナー

全学年共通

夏季進路セミナー（2日間）

各科工場見学

PTA保護者キャリアセミナー

1年生ではファイナンシャルプランナーなど

の外部講師による講演や進路適性検査, 職業興味検査などのアセスメントツールによる自己理解を行っている。

そして2年生では、「社会へ出るためにこれから身につけておかなければならないこと」についての2回の講演を外部講師に来ていただいている。また職業を理解するためには、職業別説明会や分野別説明会を大学や専門学校に来ていただいて実施している。

また2年生の夏休みには希望者を募り、地域のハローワークが主催するジュニアインターンシップに参加している。

2年生から3年生に進級する春休みには、進路選択を具体的に考えるために、就職・進学の進路希望別に進路ガイダンスを行っている。

この進路ガイダンスでは、就職希望者対象に、中小企業家同友会に所属する地元の企業の社長に来ていただき、社会人となるために企業が求めていることについて講演していただいている。そして外部講師により、マナー講習および面接指導を行っている。

一方、進学希望者については、学校選びのポイントや奨学金についての指導、また卒業生の講演などを行っている。

3年生では「進路の手引き」を制作・配付するとともに、これからどのように進路決定を行っていくかについて、就職・進学の希望別に説明会を行っている。進路決定の参考のために、「卒業生を囲む会」として、就職した卒業生と進学した卒業生に来てもらい、体験談を聞く場を設定している。

また夏休みには、厚生労働省委託事業の就職ガイダンスを実施している。就職ガイダンスの申込抽選にはずれた時には、外部のキャリアコンサルタントのグループに協力していただき、就職ガイダンスと同じような面接指導の内容のものを本校独自プログラムとして実施している。

特に就職では面接試験が重要となるので、担

任、科を中心とした校内の先生、管理職などがあらゆる機会を用いて面接練習を行っている。

しかしながら生徒の中にはうまく話ができて面接が苦手でなかなか合格につながらない生徒がいる。そのような生徒には、校内の先生だけでなく、専門知識を持った外部のキャリアコンサルタントに協力していただいて、面接練習を行っている。このような生徒にとっては、外部講師の面接はよい練習になっているようである。

そして卒業前には、社会人になってから困らないように、労働法セミナーを大阪府総合労働事務所やハローワーク等の外部専門機関の講師にお願いして、実施している。

本校のキャリア教育の目玉は、2学期始業式直後の2日間で行う夏季セミナーである。次のような内容で実施している。

1年生では、自己理解ワークや適性検査などで自己理解に努め、自分未来BOOKワークや資格と学校、分野別職業紹介で職業について学んでいる。

2年生では、「資格と仕事」ということで、大学・専門学校の内定学生に来ていただき、話をさせていただいている。

また「職業を知る」では地域の企業の経営者の方や社会で活躍している卒業生に来ていただき、講演していただいている。

『学ぶ』と『働く』では、医療関係の資格と博士号を持って活躍している方や、整備士をしている方など、資格をとり、それを活用して働いている卒業生に話をしてもらっている。

また就職でも進学でも志望理由などに必要な文書を書く能力を高めるために、小論文作文対策を行っている。

そして3年生では、具体的な力を高めるために、SPI対策はもちろんのこと、就職の時事問題セミナーや進学の小論文・志望理由書対策、一般常識のチェックテストなどを実施している。

		1 日目			
		1 限	2限	3限	4限
1年	LHR 進路意 識調査 (前)		自己理解 ワーク	適職適学 診断	分野別職 業紹介
2年			資格と仕事 (大学・専門学校 就職内定学生)		
3年			就職: 時事問題 セミナー 進学: 小論文・志 望理由対策	就職&進学: SPI対策	

表1 夏季セミナー（1日目）

		2 日目			
		1 限	2限	3限	4限
1年	進路意 識調査 (後)	じぶん未 来BOOK ワーク	資格と学校		
2年		小論文作 文対策	職業を 知る	「学ぶ」 と 「働く」	
3年		チェッ クテス ト	コミュニケーション 力・面接対策		

表2 夏季セミナー（2日目）

またコミュニケーション力・面接対策も行っている。

またPTAと共催で、保護者キャリアセミナーを実施している。講師には大学の先生やファイナンシャルプランナーの方に依頼している。

このように、キャリア教育においても、インターンシップや講演会をはじめ、いろんな機会に中小企業家同友会をはじめ、地域の企業に連携していただき、協力を得て実施している。



図1 小学生ものづくり教室の様子

(2) 小学生ものづくり教室

小学生ものづくり教室は、平成14年より生野区の小学校に在籍する5、6年生を対象にスタートした。実施日数は1日である。出前授業として行った年度もあるが、できるだけいろんな小学校の生徒が参加できるように、現在は本校のみの実施としている。

また平成20年度より、オリジナルロボット教材を開発するために、大阪商工会議所と連携し、地元の東成・生野支部の異業種交流会「フォーラム・アイ」に部品づくりの協力をお願いし、生徒が協力企業に伺って、ご指導いただきながら、部品の製作に取り組んでいる。



図2 企業での部品製作の様子

(3) 商店街プロジェクト

平成25年度より、地域の商店街の活性化を目指したプロジェクトで「ものづくり体験会」等を行っている。月1回土曜日に商店街の空き店舗で実施している。また軽音楽部も参加して演奏を行っている。



図3 商店街ものづくり体験会の様子

ものづくり体験会では、本校生徒が先生役になり、子どもや一般の方に対して説明し、製作の指導を行っている。

また日常的には空き店舗をお借りして本校の作品を常設展示し、PRを行っている。



図4 商店街常設展示ブース

3. おわりに

今回地域との連携を中心としたものづくり教育とキャリア教育の取組について紹介した。特に今年度は商店街でのものづくり体験会などの取組も影響してか入学希望者が多かった。

本校では今後とも地域と連携して、キャリア教育およびものづくり教育を続けていくつもりである。そして将来社会に出て活躍できる高校生を育成していく所存である。